

石巻市社会教育・体育施設等適正配置及び長寿命化計画 概要版

○適正配置及び長寿命化計画の背景と目的

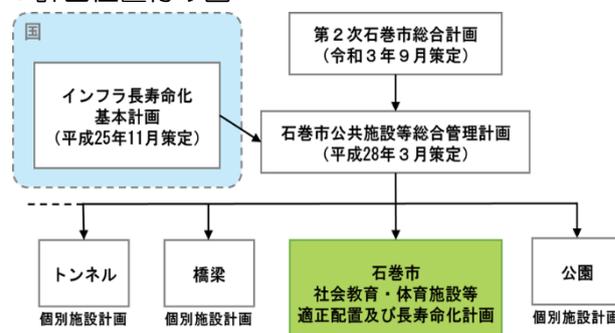
本市では、昭和 40 年代後半頃から多くの公共施設が整備されており、平成 17 年の市町村大合併を受け、同用途である公共施設が重複して所有している状況となっています。また、平成 23 年 3 月の東日本大震災で被災した公共施設の復旧・復興工事により、新規の公共施設が建設されています。

このことから、今後施設が一斉に老朽化することや、人口減少や少子高齢化等により財政状況が厳しくなることを踏まえて、平成 28 年 3 月に「石巻市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

本計画は、「石巻市公共施設等総合管理計画」に定める方針（“公共施設の延床面積を今後 40 年間で 20%の総量縮減”）に基づき、限られた財源の中で維持管理・修繕・更新を適切に実施するとともに、維持管理費用の低減に努め財政負担の平準化に資するため、市内の社会教育施設及び社会体育施設 51 施設（99 カテゴリー）について「適正配置及び長寿命化計画」を策定します。

長寿命化とは…老朽化した建物について、計画的に不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能について現在求められている水準まで引き上げる改修を行うこと。これにより、建物を長く使用することが可能となり、工事費も大幅に縮減でき、且つ結果は改築と同等となることから費用対効果が非常に大きくなる。

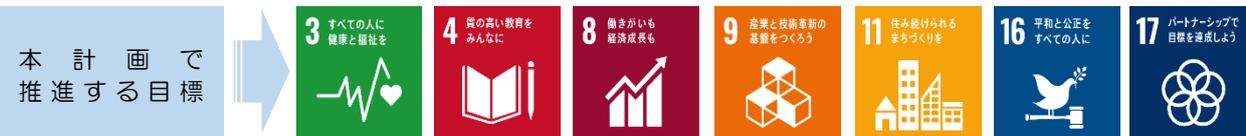
▼計画位置付け図



○SDGs（持続可能な開発目標）との関係性

本市は、令和 2 年度に SDGs の達成に向けて優れた取り組みを提案した自治体のひとつとして、内閣府から「SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」に選定されました。

このことから、市民の豊かな文化芸術活動、市民のスポーツ活動や健康維持の充実を図る目的で策定する本計画についても、SDGs の 17 のゴールと関連付けることにより、「持続可能なまちづくり」による地方創生を目指していきます。



SDGs とは…平成 27 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な世界」を実現するための開発目標で、誰もが安心して暮らせる地域の実現を目指すもの。

○計画期間

令和 3 年度～令和 37 年度（35 年間）

○長寿命化対策事業計画

令和 3 年度～令和 12 年度（10 年間）

※計画期間中において施設等の状況や各種前提条件に大幅な変更が生じた場合には、必要に応じて本計画の見直しを行うものとしします。

○対象施設（カテゴリー分類による施設数）

- ・社会教育施設：24 施設（41）
（公民館（11）、図書館（7）、文化ホール（4）、文化財関係施設（7）、その他（12））
- ・社会体育施設：27 施設（58）
（体育館（アリーナ）（8）、野球場・ソフトボール場（8）、フットボール場（2）、多目的グラウンド（10）、テニスコート（8）、プール（2）、武道場（柔道場・剣道場・弓道場）（3）、その他（17））

計：51 施設（99）

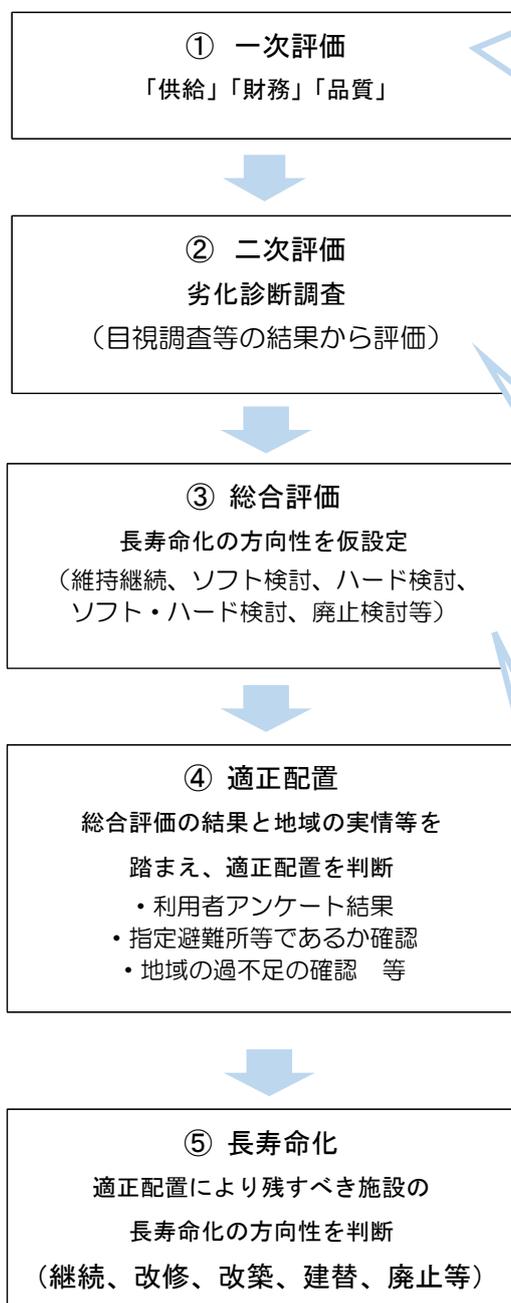
○適正配置と長寿命化の基本方針

社会教育施設・社会体育施設 全体基本方針

| 施設の適正配置 | 施設の長寿命化 |
|--|--|
| 適切なサービスの提供と効率的な管理を実施するため、施設の集約化・複合化・用途変更等により、地域的なバランスを考慮した施設の適正な配置を図ることとします。 | 施設の点検診断等を適切に実施し現状把握に努め、予防保全型の計画的な管理により、残すべき施設の長寿命化を図ることとします。 |

○施設の調査と評価

▼施設評価フロー



① 一次評価

各施設の“ハコモノ”の状況を定量的に把握するため、ソフト面「供給（利用状況）」と「財務（コスト状況）」、ハード面「品質（老朽化状況）」を偏差値化し、ポートフォリオ分析（4象限評価）で評価しました。



② 二次評価

建物の部位ごとの劣化状況を目視、打診等による劣化診断調査の結果を基に、評価しました。評価項目は9項目とし、項目ごとに4段階（A・B・C・D）で評価し、コスト配分等の掛け率で調整を行い、それぞれの施設評価を健全度として点数化しました。

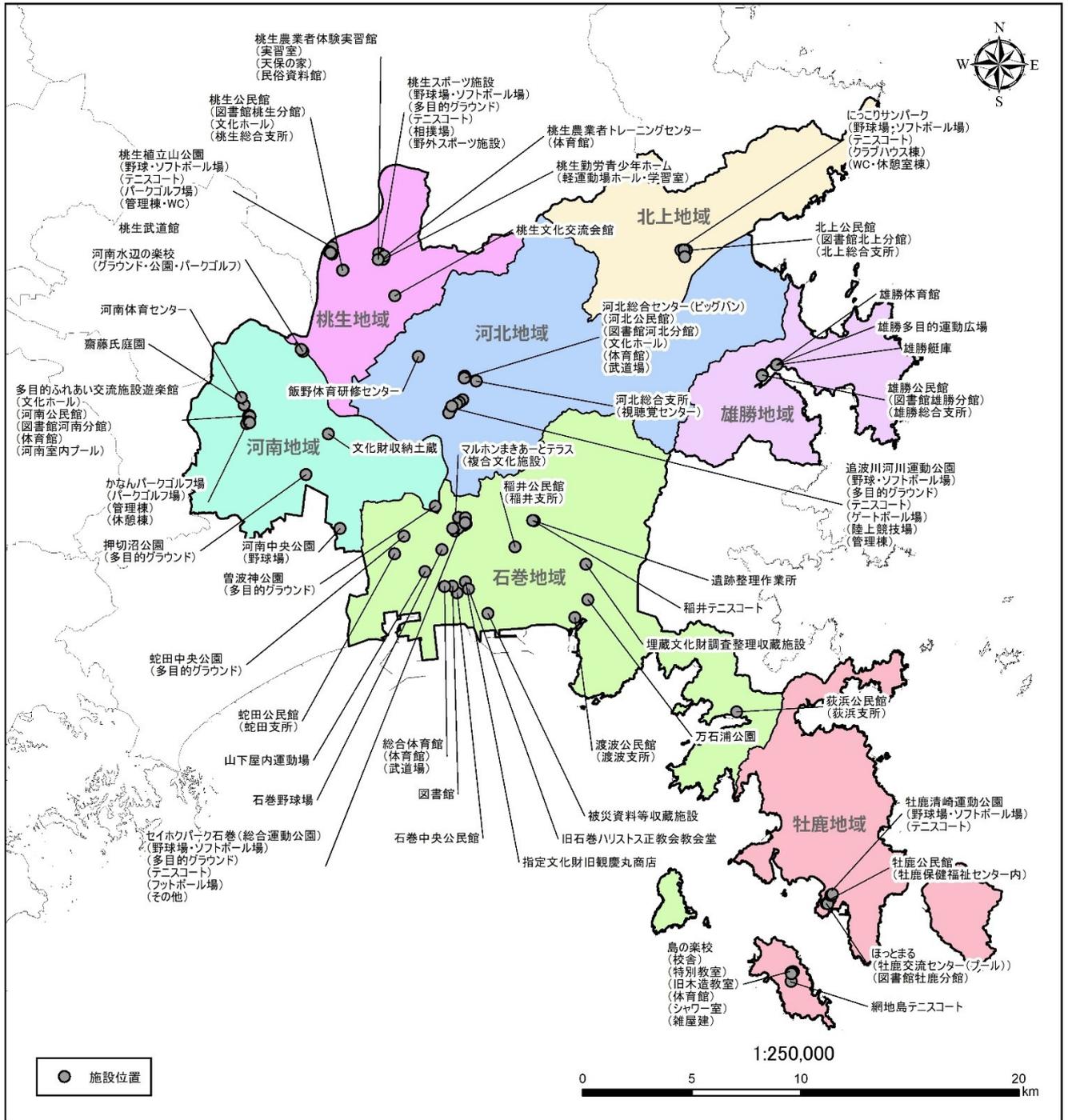
③ 総合評価

一次評価、二次評価結果から、「維持継続」、「ソフト検討」、「ハード検討」、「ソフト・ハード検討」、「廃止検討」の5パターンに分類した総合評価を設定しました。

| 評 価 | 一次評価 | 二次評価 |
|-----------|---|-------|
| 維持継続 | A評価 | 50点以上 |
| | B2評価 | 50点以上 |
| | 文化財施設及び新設の施設 都市公園に指定されている施設 震災後に整備された施設 | |
| ソフト検討 | B1評価 | 50点以上 |
| ハード検討 | A評価 | 50点以下 |
| | B2評価 | 50点以下 |
| ハード・ソフト検討 | B1評価 | 50点以下 |
| 廃止検討 | C評価 | 50点以下 |

※一次評価がC判定で二次評価が50点以上は、一次・二次評価の内容により評価

○施設配置図



○適正配置計画

適正配置は施設ごとに求められる規模や機能により、利用者の地理的範囲が異なることが考えられるため、施設ごとに「市域レベル」「地域レベル」のエリア区分を設けて検討しました。また、利用者へのアンケート結果や公式試合数の実績などを加味して検討しました。

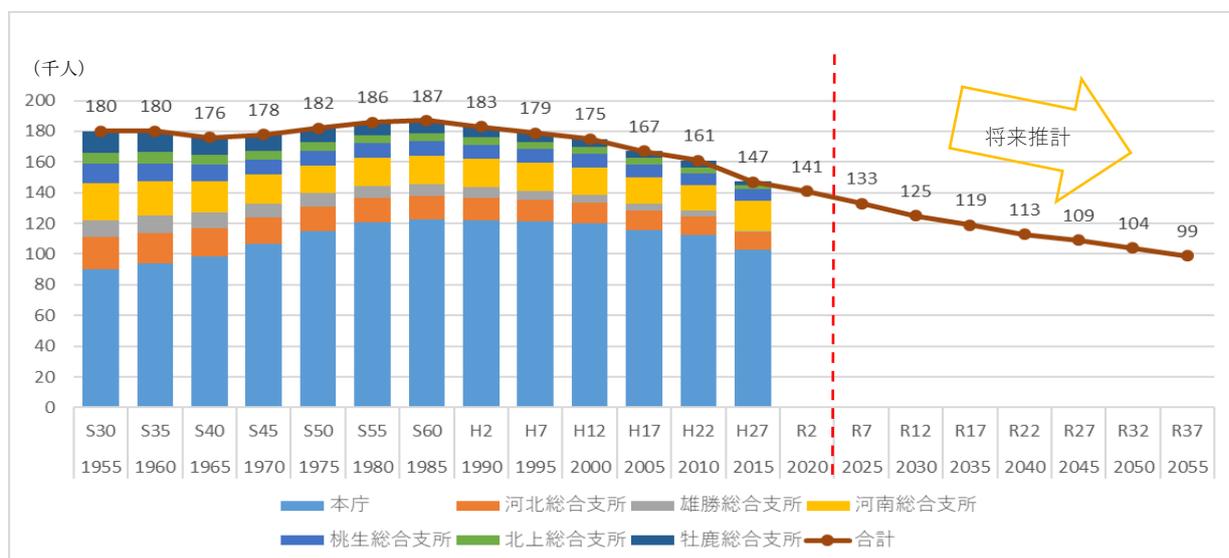
▼適正配置の方針

| 方針 | 内容 |
|-------|---|
| 維持継続 | <ul style="list-style-type: none"> 現在の施設を使用し、長寿命化のための維持管理を行う。 施設に移転及び移設等の必要が生じた場合には、別途検討する。 |
| 保護・保全 | <ul style="list-style-type: none"> 主に文化財関係施設にあたり、今後も施設の保護及び保全を行う。 |
| 機能集約 | <ul style="list-style-type: none"> 今後、施設の状況や周囲の施設と調整を行い、機能の集約を検討する。 |
| 廃止検討 | <ul style="list-style-type: none"> 著しく老朽化している施設かつ利用者が減少し、周囲に同類の施設があるものについては廃止を検討する。 |

○適正配置に向けた基本的な考え方

| カテゴリー区分 | 基本的な考え方 |
|------------------|---|
| 公民館 | 利用者のサービス低下とならないように、地域的なバランスを考慮する。 |
| 図書館 | 各地域の利用者ニーズに応じた施設環境の提供について考慮する。 |
| 文化ホール | 市域レベルでの利用者ニーズに応じた施設環境の提供と施設の機能分担を明確にした施設運営について考慮する。 |
| 文化財関係施設 | 指定文化財として、保護・保全について考慮する。 |
| 体育館（アリーナ） | 大会会場等としての利用及び学校施設開放の状況、地域的なバランスを考慮する。 |
| 野球場・ソフトボール場 | 大会会場等としての利用及び学校施設開放の状況、地域的なバランスを考慮する。 |
| フットボール場 | 市域レベルでの利用や全国・県大会等での利用について考慮する。 |
| 多目的グラウンド | 類似の機能を有する施設と一体的に考え、学校施設開放の状況を考慮する。 |
| テニスコート | 大会会場等としての利用及び施設の利用状況を考慮する。 |
| プール | 市民ニーズを踏まえ、施設の利用状況を考慮する。 |
| 武道場（柔道場・剣道場・弓道場） | 学校施設開放の状況、地域的なバランスを考慮する。 |

○人口推移及び将来推計



出典；石巻市 地方人口ビジョン

○施設ごとの適正配置の方針

| 方針 | 内容 | 施設名 |
|-------|---|--|
| 維持継続 | 現在の施設を使用し、長寿命化のための維持管理を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・石巻地区 石巻中央公民館、渡波公民館、蛇田公民館、稲井公民館、荻浜公民館、図書館、遺跡整理事業所、埋蔵文化財調査整理収蔵施設、被災資料等収蔵施設、総合体育館（体育館、武道場）、山下屋内運動場、セイホクパーク石巻（野球場、フットボール場、フットボールフィールド、ふれあいグラウンド、テニスコート、トレーニングセンター、フットサルコート、多目的フィールド）、石巻野球場、蛇田中央公園、曾波神公園、万石浦公園、マルホンまきあーとテラス（文化ホール、博物館） ・河北地区 河北総合センター（河北公民館、図書館河北分館、文化ホール、体育館、武道場）、視聴覚センター、追波川河川運動公園（野球場、多目的グラウンド、テニスコート、陸上競技場、ゲートボール場、管理棟） ・雄勝地区 雄勝公民館、図書館雄勝分館、雄勝体育館、雄勝多目的運動広場、雄勝艇庫 ・河南地区 多目的ふれあい交流施設遊楽館（河南公民館、図書館河南分館、文化ホール、体育館、河南室内プール）、河南中央公園、押切沼公園、かなんパークゴルフ場（パークゴルフ場、管理棟、休憩棟）、河南水辺の楽校公園（多目的グラウンド、パークゴルフ場） ・桃生地区 桃生公民館、図書館桃生分館、桃生公民館（文化ホール）、桃生文化交流会館、桃生農業者体験実習館（創作館、天保の家、資料館）、桃生農業者トレーニングセンター、桃生スポーツ施設（野球場、多目的グラウンド）、桃生植立山公園（ソフトボール場、テニスコート、パークゴルフ場、管理棟・WC）、桃生武道館 ・北上地区 北上公民館、図書館北上分館、にっこりサンパーク（野球場、テニスコート、クラブハウス） ・牡鹿地区 牡鹿公民館、島の楽校（校舎、特別教室、シャワー棟）、牡鹿清崎運動公園（野球場、テニスコート）、牡鹿交流センター（プール、図書館牡鹿分館） |
| 保護・保全 | 主に文化財関係施設にあたり、今後も施設の保護及び保全を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・石巻地区 旧朝慶丸商店、旧石巻ハリストス正教会教会堂 ・河南地区 齋藤氏庭園 |
| 機能集約 | 今後、施設の状況や周囲の施設と調整を行い、機能の集約を検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・石巻地区 総合体育館・山下屋内運動場、セイホクパーク石巻（テニスコート）・稲井テニスコート ・河北地区 河北総合センター（体育館）・飯野体育研修センター ・河南地区 多目的ふれあい交流施設遊楽館（体育館）・河南体育センター ・桃生地区 桃生農業者トレーニングセンター・桃生勤労青少年ホーム、桃生植立山公園（テニスコート）・桃生スポーツ施設（テニスコート） |
| 廃止検討 | 著しく老朽化している施設かつ利用者が減少し、周囲に同様の施設があるものについては、廃止を検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・石巻地区 稲井テニスコート ・河北地区 飯野体育研修センター ・河南地区 文化財収納土蔵、河南体育センター ・桃生地区 桃生勤労青少年ホーム、桃生スポーツ施設（テニスコート、野外活動センター、相撲場） ・北上地区 にっこりサンパーク（WC・休憩室） ・牡鹿地区 島の楽校（旧木造校舎、体育館、雑屋建）、網地島テニスコート |

○今後の適正配置について

今後も本市の人口は減少傾向となっており、35年後には人口が約9.9万人まで減少すると見込まれていることから、公共施設の削減は避けられない状況になっております。

このことから、本市の社会教育及び社会体育施設においても、今後の人口減少及び施設の利用状況等を踏まえ、施設の集約化・複合化等による適正配置を検討し、「石巻市公共施設等総合管理計画」のハコモノ施設の総量削減目標に基づき、令和37年度までに総延床面積の20%、約1.6万㎡の削減を目指していきます。また、人口推計等の前提条件に大幅な変更が生じた場合には、必要に応じて削減目標を見直していきます。

▼社会教育施設及び社会体育施設の総延床面積と削減目標

| 区分 | 平成22年3月末 延床面積 | 令和3年3月末 延床面積及び削減率 | 目標 削減率 | 目標削減面積 | 削減後延床面積 | |
|--------|------------------|----------------------|-----------|--------|-------------|-------------|
| 社会教育施設 | 49,537.33 ㎡ | 53,184.07 ㎡ | — | — | — | |
| 社会体育施設 | 30,398.95 ㎡ | 26,298.98 ㎡ | — | — | — | |
| 合計 | 79,936.28 ㎡ | 79,483.05 ㎡ | 0.57% | 20% | 15,987.26 ㎡ | 63,949.02 ㎡ |

○ 長寿命化計画（保全計画）

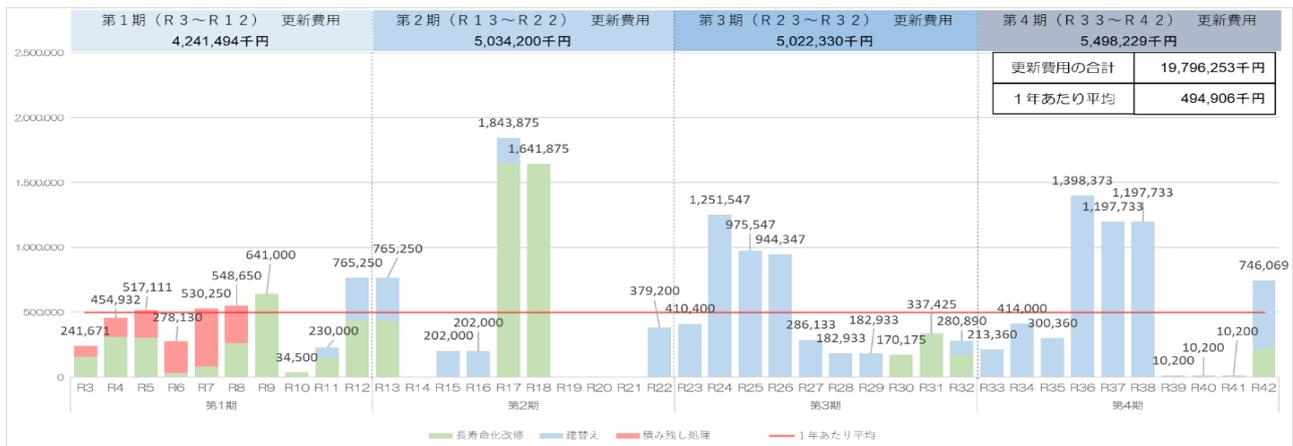
適正配置の方針に基づき、今後 35 年間の長寿命化の方向性を定めました。

| 方向性 | 内容 |
|--------|--|
| 維持・保全 | 建築物(建築設備を含む)及び、諸施設、外構、植栽等の対象物の全体、または部分の機能及び性能を、使用目的に適合するよう維持または改良する諸行為のこと。 維持保全と改良保全に分けられる。 |
| 更新 | 劣化した部位・部品や機器などを新しいものに取り換えること。 |
| 修繕 | 劣化した、または陳腐化した部材・部品や機器などの機能・性能・外観を現状あるいは実用上支障のない状態まで回復させること。 ただし、保守の範囲に含まれる定期的な小規模の取替は除く。 |
| 改修 | 劣化または陳腐化した建築物、またはその部分の性能や機能を初期の水準（機能回復）もしくはそれ以上の要求される水準（機能向上）まで改善すること。 |
| 長寿命化改修 | 劣化または陳腐化した建築物、またはその部分の性能や機能を初期の水準（機能回復）かつ、それ以上の要求される水準（機能向上）まで改善すること。 |
| 大規模改修 | 劣化または陳腐化した建築物、またはその部分の性能や機能を初期の水準（機能回復）まで改善すること。 |

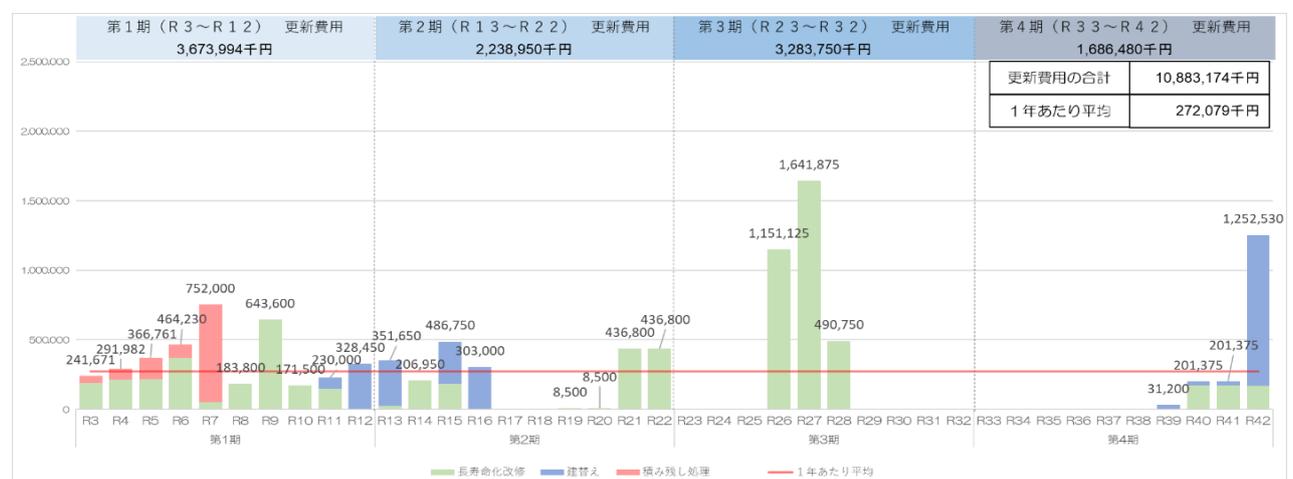
また、総務省が推奨している一般財団法人地域総合整備財団<ふるさと財団>の「公共施設更新費用試算ソフト」を使用し、40年間の更新費用についてシミュレーションを行いました。

本計画の対象施設においては、施設種類や地域状況が多岐にわたるとともに建物用途の構造（鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造など）が異なることから、改築周期を 60 年と 80 年の 2 種類でシミュレーションし、経済的に有利になる改築周期 80 年で長寿命化対策を検討することにしました。

◆改築周期 60 年：各施設の実情に即した保全計画と試算ソフトとの併用によるシミュレーション



◆改築周期 80 年：各施設の実情に即した保全計画と試算ソフトとの併用によるシミュレーション



○今後10年間の長寿命化の検討

長寿命化の方針に基づき、長寿命化対策の優先度が高い施設から改修整備を行うものとして、次のとおり第1期（令和3年度～令和12年度）中に長寿命化対策を検討すべき施設の中から、優先して対策を講じていく施設を決定しました。

長寿命化対策事業については、各施設の状況に応じて優先順位を定め、適宜見直しを行いながら、「石巻市総合計画実施計画」に掲載したうえで進めていくこととしております。

▼第1期（令和3年度～令和12年度）の長寿命化対策検討施設

| 地区 | 区分 | 長寿命化対策優先施設名 |
|----|--------|------------------------------|
| 石巻 | 社会教育施設 | 渡波公民館、図書館 |
| | 社会体育施設 | 総合体育館、セイホクパーク石巻（野球場、フットボール場） |
| 河北 | 社会教育施設 | 河北総合センター |
| | 社会体育施設 | 追波川河川運動公園（管理棟） |
| 雄勝 | 社会教育施設 | — |
| | 社会体育施設 | — |
| 河南 | 社会教育施設 | 多目的ふれあい交流施設遊楽館 |
| | 社会体育施設 | 河南中央公園（野球場） |
| 桃生 | 社会教育施設 | 桃生公民館（舞台設備） |
| | 社会体育施設 | 桃生農業者トレーニングセンター、桃生武道館 |
| 北上 | 社会教育施設 | — |
| | 社会体育施設 | にっこりサンパーク（野球場） |
| 牡鹿 | 社会教育施設 | — |
| | 社会体育施設 | 牡鹿交流センター |

※文化財関係施設である旧観慶丸商店、旧石巻ハリストス正教会教会堂、齋藤氏庭園については、指定文化財であることから、保護・保全するための対策が必要となった場合には、その都度、保護・保全の対応を行う。

○計画の推進体制

(1) 推進体制の方針

本計画の推進にあたっては、基本的に石巻市公共施設等総合管理計画に基づく体制の構築方針に従い推進するものとします。加えて、本計画の施設においては、都市公園に都市計画決定されている施設や緊急避難場所に指定されている施設もあることから、関係各課との調整を密に行いながら進行管理していくことが必要となります。これらを踏まえた方針は以下のとおりです。

▼体制の構築方針

- ①石巻市行財政改革推進本部の下で一元的な管理を推進
 - ②公共施設等の適正な維持管理等の研修へ参加
 - ③関係各課との調整を推進
- (※場合によっては庁内の横断的組織による推進)

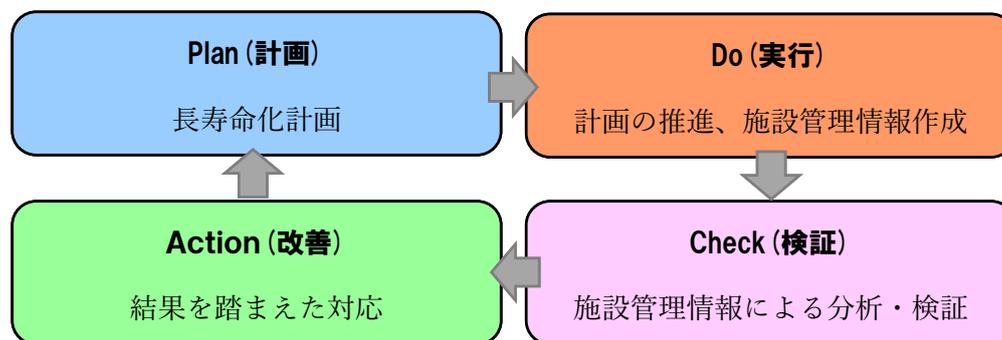
(2) 施設情報管理

今回、計画を策定するにあたり、施設ごとに利用者や維持管理における経費等を「施設カルテ」として取りまとめました。今後、施設の維持管理を実施していくにあたり、工事の判断材料として劣化状況や修繕履歴の把握が必要となるため、効率的な情報管理の手法について検討します。

また、老朽化や統廃合・集約等により廃止となった施設（土地）については、今後の利活用の課題となることから、情報公開を行うことにより、民間への転換などの可能性を広げるなど、有効活用策を検討します。

(3) フォローアップの実施方針

本計画を実施するにあたり、PDCAサイクルにより、長寿命化計画の進捗状況の確認・管理を行います。



石巻市社会教育・体育施設等 適正配置及び長寿命化計画

編集 令和3年12月
石巻市教育委員会
〒986-8501
宮城県石巻市穀町14番1号
電話番号：0225-95-1111（代表）
F A X：0225-22-5160